



死亡災害事例

機械 1

事故の型

激突

業 種

土木工事業

被 災 者

現場管理者(30代)

経験年数

10年以上15年未満

発生状況

トンネルの換気所建設工事で、地上からコンクリートポンプ車を使用してケーソン中埋コンクリート打設中、配管内でコンクリートが閉塞、作業を中止して被災者ほか4名で同ポンプ車のフレキシブルホースと地下に繋がる配管とを切り離れたところ、フレキシブルホースが大きく振れ、ホース先端のバルブ部分が被災者に激突した。
(平成23年9月)



原因と対策

(原因) コンクリート打設用の配管（フレキシブルホース等）内に残圧がある状態で配管を切り離して作業を行ったこと。

(対策) 吹出口やジョイントで噴発の危険がある箇所への立入禁止を徹底するとともに、残圧を解放して、配管を取り外す作業では、吹出口のホース等については、空中で未固定の状況とならないように固定して作業を行う。

圧送工事の作業計画、作業手順の作成・活用を徹底するとともに、配管閉塞時など異常時の対応についても、あらかじめ計画に組み込むことが必要である。